

次長講話

木村 真理 次長 兼 教職教育課長



12月10日(金)に実施された木村次長講話では、持続可能で魅力ある学校教育についての話を中心に進められました。

予測困難な時代に「学校はこれからどう変わるのか、また、どう変えたいのか」をテーマに、学ぶ内容、学び方、学校の仕組み、働き方等の視点から話し合いを進めました。デジタルホワイト

ボードを活用し、斬新な意見交換ができました。

長期研修生からは「時間やお金の制約がなかったら授業をもっとこうしたい。」「教員の負担軽減をするためには、こんな工夫をするとよい。」等のアイデアが多く出されました。

長期研修ゼミナール

12月13日(月)に第3回のゼミナールを行いました。テーマは、「学校の働き方改革について～各校の現在の取組とこれからのアイデア～」とし、デジタルホワイトボードを活用しながら協議を進め

ました。今回は発表したことに対して、質疑応答を行い、全体で深めていくことに重点を置きました。

長期研修生からは、「他校の取組の様子を聞く機会をいただけたので、学校に戻ってから実践できるところは相談しながら進めていきたい。」「これまでの“当たり前”が少しずつだが変わってきているので、無理だとあきらめずに理想や希望をもちつつ、自分自身の働き方も見直していきたいと思う。」などの感想が聞かれました。

